

秋の七草

園内七草スポット

花のみごろは公園公式ホームページでお知らせしています。ぜひご覧ください。



キキョウ

雌しべは、雄しべが花粉を飛ばし終えると成熟する

分類：キキョウ科
花期：7月～9月
高さ：50cm～1m
特徴：日当たりのいい山地の草原に生える根を漢方薬に使う

ススキの下の「思い草」

道の辺の尾花が下の思ひ(い)草

今さらになど物が念はむ

万葉集二二七〇 巻十

秋の七草が詠われている『万葉集』の中には、七草に関わりのある植物も登場します。

「思い草」はススキなどのイネ科の植物の根に寄生するナンバンギセルの別名です。秋になると、ススキの下で紫色の花をつけます。



ナンバンギセル



公園で楽しむ 秋の七草



旧暦の秋のころに咲く、美しい花々を楽しむために選定された秋の七草。

昭和記念公園でも、その可憐な姿をみることができます。

今日は秋の七草をみながら公園を歩いてみませんか。

公園からのおねがい

- 園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。
- 花畑や花壇、柵で囲った場所は入らずに観察しましょう。
- スズメバチに出会ったら、立ち去るまで待ちましょう。

秋の七草

「秋の七草」は、『万葉集』の中で、歌人の山上憶良が詠んだ和歌に登場します。和歌には日暦の秋の季節の野山に咲く美しい植物を数えながら楽しむ様子が詠われています。7種類の植物は、現在の新暦では夏から秋に花を咲かせます。



ヤマハギ

柄が長い

分類：マメ科
花期：7月～10月
高さ：1～3m
特徴：日当たりのいい山地に生える低木
庭木にも使われる



ススキ

小さな黄色い花をつける
秋の終わりに、白い毛のついた種子を飛ばす

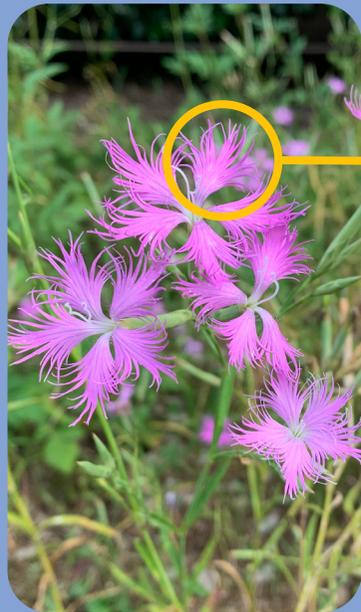
分類：イネ科
花期：8月～10月
高さ：1～2m
特徴：別名の「尾花」は花穂が馬の尾に見えることが由来



クズ

花にはいい香りがある

分類：マメ科
花期：7月～9月
高さ：10～15m
特徴：つる性植物
根のでんぱんの葛粉は食用



カワラナデシコ

花弁は細かく糸状に裂ける

分類：ナデシコ科
花期：7月～10月
高さ：30～80cm
特徴：日当たりのいい草地や河原に生える
ナデシコとも言う



オミナエシ

枝分かれした茎の先にたくさんの花をつける

分類：スイカズラ科
花期：8月～10月
高さ：60cm～1m
特徴：日当たりのいい草地に生える
昆虫がよく訪れる



フジバカマ

花には昆虫がたくさん訪れる

分類：キク科
花期：8月～9月
高さ：1～1.5m
特徴：日当たりのいい湿った草地に生える